TOYOTOMI

トヨトミ 30cmリビング扇風機

型式 FS-300DM
エフ エス デー エム
（マイコン式）

型式 FS-300DR
エフ エス デー アール
（リモコン式）

型式 FS-300DHR
エフ エス デー エッチ アール
（ハイポジションリモコン式）

取扱説明書（保証書付き）

このたびは、本機をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。

- ご使用の前に、必ずこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しく使用してください。
- この「取扱説明書」は、大切に保管してください。
- 取扱説明書を紛失された場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。

FS-300DM　FS-300DR　FS-300DHR

目　次

長年ご使用の扇風機の点検を

- モーターがうなるような異常な音はしていませんか？
- 焦げ臭いにおいはしていませんか？
- モーターが異常に熱くなったりしていませんか？
- スイッチを入れたら、ちゃんと羽根は回りますか？
- 羽根の回転が遅くなったりしていませんか？
- 羽根はちゃんと回ってますか？異常な振動音を出しながら回ってませんか？
- 電源コードをふれたり折り曲げたりしたら、動いたり動かなかったりすることはありませんか？
- スイッチを入れても、動かない時はありませんか？

愛情点検

以上のような症状の時は、使用を中止し、故障や事故の防止のため必ずお買い求めの販売店に点検をご相談ください。

D02-1

株式会社トヨトミ

8714000501

安全上のご注意（よく読んで必ずお守りください。）

●お使いになる人や他の人への危害と財産への損害を未然に防ぎ、本機を安全に正しく使用するために、必ずお守りいただくことを説明しています。
●ここに示した表示は、誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

表示	内容
⚠危険（DANGER）	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠警告（WARNING）	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意（CAUTION）	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が軽傷を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。

●お守りいただく内容を、次の絵表示で区分しています。

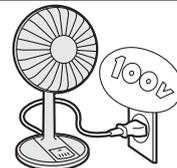
絵表示	内容	絵表示	内容
	この絵表示は、「禁止」されている内容です。		この絵表示は、必ずしていただく「指示」内容です。

●説明文中の**「お願い」「お知らせ」**事項は、本機を誤りなく正しくお使いいただくための内容が記載されています。

⚠危 険（DANGER）

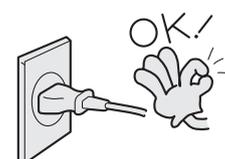
●異常時（こげくさい等）は、運転を停止して電源プラグをコンセントから抜き、お買い求めの販売店にご相談ください。
異常のまま運転を続けると、故障や感電・火災の原因になります。
また、長年使用された場合、経年劣化により部品に不具合がおこることがあります。
その状態で使用を続けますと、事故になるおそれがあります。定期的に点検を依頼してください。お買い求めの販売店にご相談ください。

⚠警 告（WARNING）

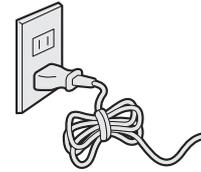
●電源は交流100V以外で使用しない。
100V以外の電源を使うと、電気部品が過熱したり、火災・感電の原因になります。

●包装用ポリ袋は幼児の手の届かない所に保管する。
誤ってかぶったとき窒息し、死亡の原因になります。

●羽根、ガード、スタンドベースをつけずに、高さ調節ボタンを押したり、運転しない。
けがの原因になります。
パイプが飛び出し非常に危険です。
モーター軸が回り出し非常に危険です。

●水につけたり、水などをかけたりしない。
また湿気の多い場所では使用しない。
水などがかかると、内部に浸水して絶縁劣化による感電・ショートの原因になります。
水などがかかったら、使用を中止して販売店の点検を受けてください。

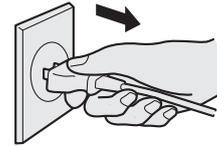
●電源プラグは、ほこりが付着していないか確認し、ガタつきのないように根元まで確実に差し込む。
ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は感電や火災の原因になります。電源プラグにたまったほこりなどは定期的（1箇月に1～2回）に掃除をしてください。

⚠警 告(WARNING)

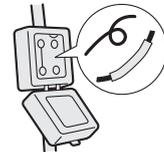
●**電源コードや電源プラグを破損するようなことはしない。傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたりしない。また、ふすまやドアに挟まない。使用中は、結束バンドや針金などで束ねたりしない。**
傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

禁止

●**モーターカバーのすき間や、可動部のすき間、ガードの中にピンや針など金属物等、または指を入れない。**
内部にふれたり、異常過熱して火災や感電・けがの原因になります。

禁止

●**電源プラグを抜いて本機の運転を停止しない。**
感電や火災の原因になります。

禁止

●**安全器のヒューズの代わりに針金や銅線などを使わない。**
故障や火災の原因になります。

禁止

●**可燃性ガスが発生する場所やたまる場所では使用しない。**
引火して火災の原因になることがあります。

禁止

●**本機に衣類や洗たく物等を、のせたり、近くに置かない。**
可動部にからまり、故障の原因になります。

禁止

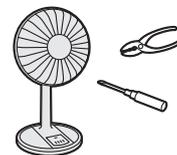
●**落雷のおそれのあるときは、運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜く。**
落雷の程度によっては、故障の原因になります。

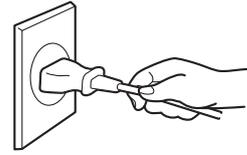
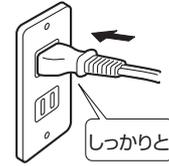
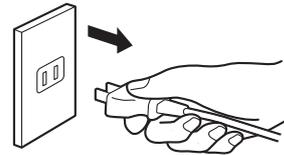
電源プラグを抜く

●**改造はしない。また修理技術者以外の人は、絶対に分解したり、修理・改造をおこなわない。**
火災・感電・けがの原因になります。

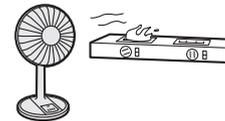
分解禁止

●**修理は、お買い求めの販売店にご相談ください。**
ご自分で修理をされ、修理に不備があると、感電・火災等の原因になります。

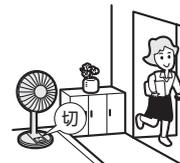
実施

⚠注 意(CAUTION)

●電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らず、必ず電源プラグを持って抜く。
電源コードを引っ張って抜くと、電源コードの内部が断線して発熱・発火の原因になります。

●電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは、使用しない。
電源コードや電源プラグが異常に発熱し、溶けたり変形して、感電・ショート・発火の原因になります。また、コンセントの差し込みがゆるいと感じた時は工事業者に依頼してコンセントを取り替えてください。
コンセントを交換しても異常に発熱している場合は販売店に修理依頼してください。

●使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜く。
絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。

●障害物(カーテン等)の周囲や不安定な場所では使用しない。
転倒し、羽根の破損や故障、けがの原因になります。

●屋外で使用しない。
屋内専用です。
故障や感電の原因になります。

●次の場所では使わない。
炎の立ち消え、引火などして火災・感電の原因になります。
- ガスレンジや石油ストーブに直接風をあてない。
- 雨や水しぶきのかかる所。
- 油、ほこり、金属粉の多い所。

●風を長時間、からだにあてない。
健康を害することがあります。
特に乳幼児、お年寄り、ご病気の方にはご注意ください。

●持ち運びするときは、必ず取っ手を持っておこなう。
他の所を持って運んだとき、手をすべらせたりして、落下の原因になります。

●外出するときや、温室・飼育室などの人のいない場所では使用しない。
予測できない事故が発生するおそれがあります。

●異常な振動が発生した場合は、使用を中止する。
羽根やガードがはずれて部品の落下、けがの原因になります。

⚠注 意(CAUTION)

●**市販品の扇風機カバーをご使用のときは、ホコリなどの異物がつまった状態で使用しない。**
モーターが過熱し、故障や事故の原因になります。

禁止

●**無理やり首を上下させない。無理やり首を回さない。**
動かなくなったらそれ以上は回したり、上下させないでください。
無理に動かすと、故障や破損のおそれがあります。
羽根とガードが接触したり、故障、羽根割れの原因になります。

禁止

●**ガード締め付けナットとスピンナーは、使用中にゆるまないようにしっかり締め付ける。**
締め付けが不充分ですと、ガードと羽根が接触して羽根割れの原因になります。

指示

●**保管するときは、お子様や器具の操作方法を知らない人などがふれない所に保管する。**
けがや事故の原因となることがあります。

指示

●**本機を引きずらない。**
床に傷が付く原因になります。

禁止

〈FS-300DR, FS-300DHRの使用の場合〉
●**リモコンに使用する電池は、指定以外の電池を使用しない。**
●**電池の⊕と⊖を間違えて挿入しない。**
●**電池は充電・加熱・分解・ショートなどさせない。火の中に入れない。**
●**電池に表示されている「使用推奨期限」を過ぎたり、使い切った電池はリモコンに入れておかない。**
●**種類の違う電池は使用しない。**
液漏れ、破裂したり、やけどやけがの原因になります。
液漏れした液にふれたときは、水でよく洗い流して、医師に相談してください。
本機に付着した場合は、直接液にふれないようにふき取ってください。
●**電池は、使えなくなったら、すぐ取り出して処分してください。**
電池はお子様が誤って飲み込むと危険です。
万一飲み込んだ場合は、すぐ医師に相談してください。
●**シーズン終了後、電池は必ず抜いて保管してください。**

禁止

各部のなまえ

外観図

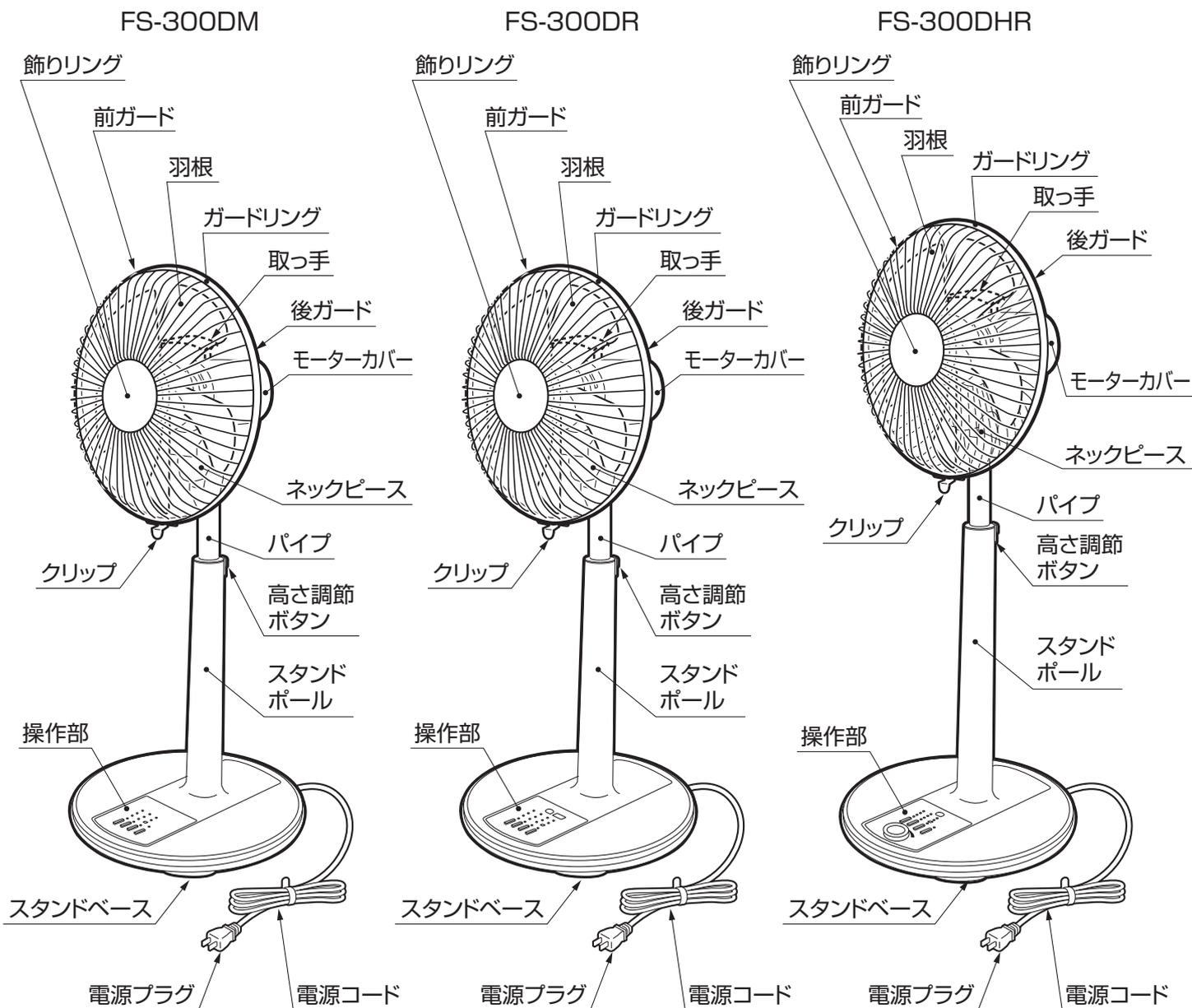
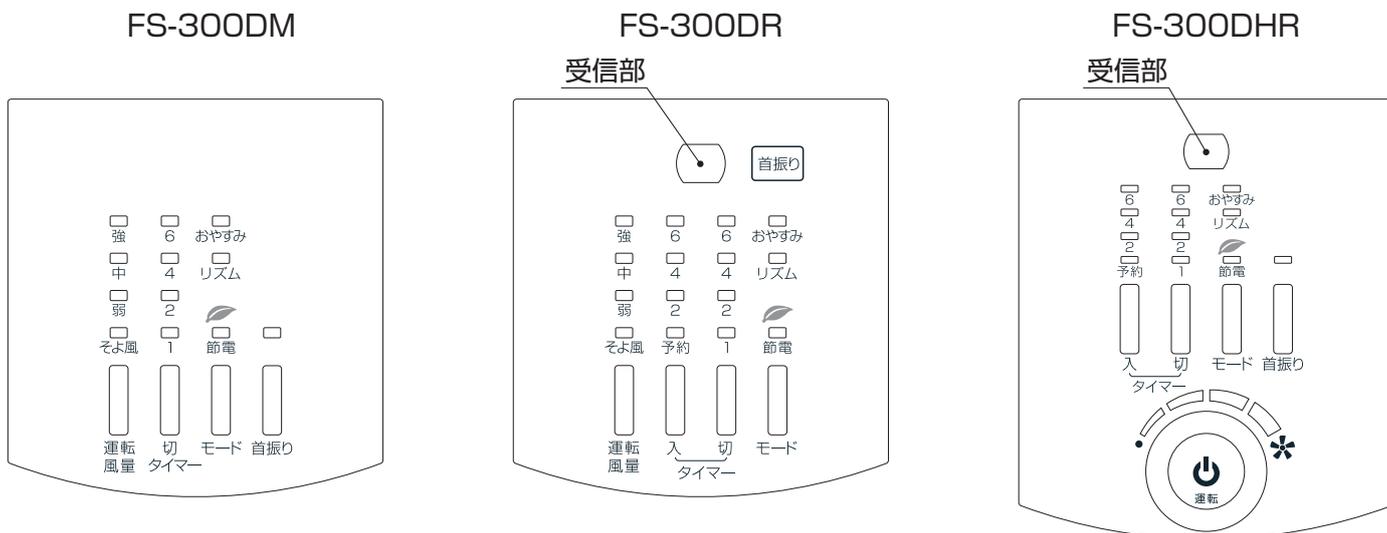
FS-300DM

飾りリング
前ガード
羽根
ガードリング
取っ手
後ガード
モーターカバー
ネックピース
パイプ
クリップ
高さ調節
ボタン
スタンド
ポール
操作部
スタンドベース
電源プラグ
電源コード

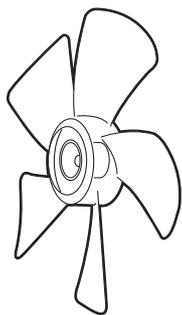
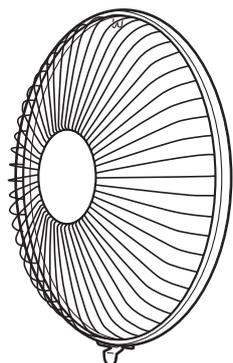
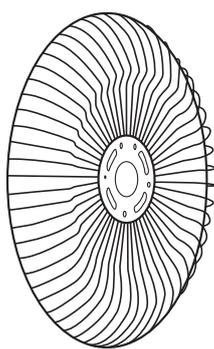
FS-300DR

飾りリング
前ガード
羽根
ガードリング
取っ手
後ガード
モーターカバー
ネックピース
パイプ
クリップ
高さ調節
ボタン
スタンド
ポール
操作部
スタンドベース
電源プラグ
電源コード

FS-300DHR

飾りリング
前ガード
羽根
ガードリング
取っ手
後ガード
モーターカバー
ネックピース
パイプ
クリップ
高さ調節
ボタン
スタンド
ポール
操作部
スタンドベース
電源プラグ
電源コード

操作部

梱包内容

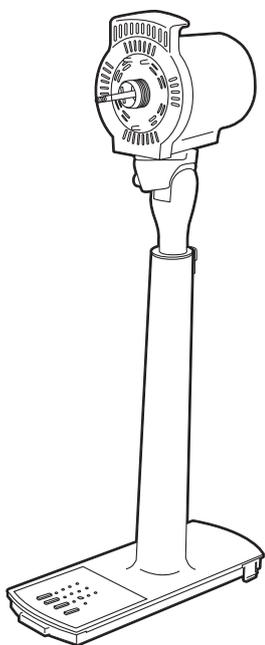
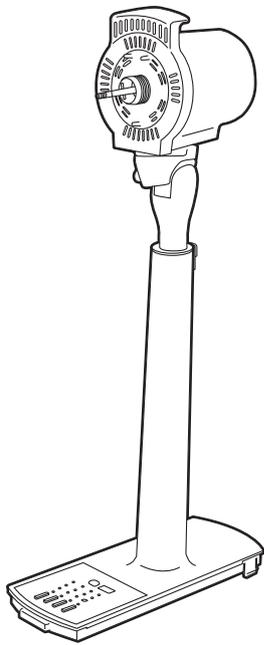
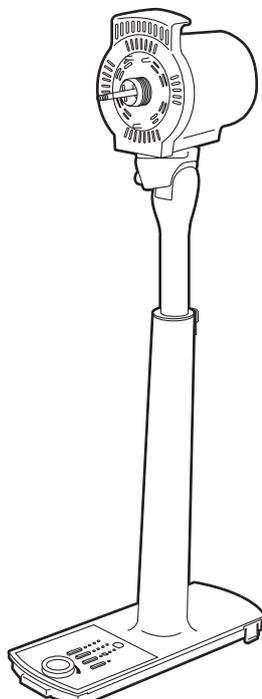
共通部品

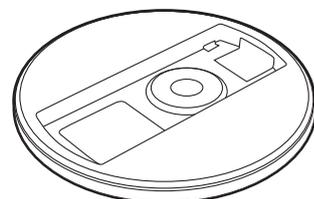
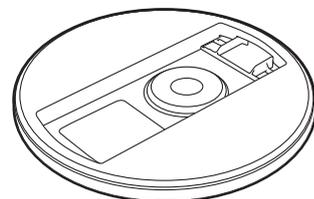
羽根

前ガード

後ガード

スピンナー

ガード締め付けナット

スタンドベース固定ナット

本体

FS-300DM

FS-300DR

FS-300DHR

スタンドベース

FS-300DM
FS-300DR 用

FS-300DHR用

付属品 FS-300DR・FS-300DHRのみ

お知らせ ●リモコンホルダーはスタンドポールに取り付けができます。

リモコン

送信部

運転

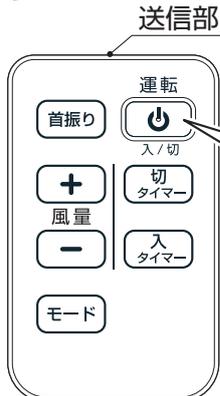
首振り

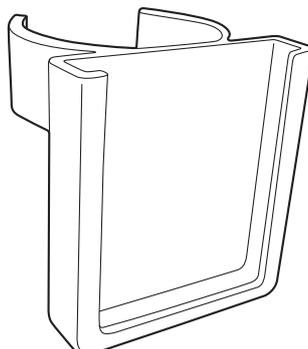
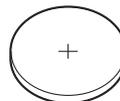
入/切

切タイマー

風量

入タイマー

モード

蓄光加工されていますので、暗所ではある程度の時間、薄緑色にひかります。

リモコンホルダー

作動確認用(おためし用)

リチウム電池 1個
CR2032 DC3V

(18ページのリモコンの電池交換のしかたを参照して電池を入れてください。)

リモコン式共通

組み立てかた

⚠警告	●**羽根、ガード、スタンドベースをつけずに高さ調節ボタンを押したり、運転しない。** けがの原因になります。 パイプが飛び出し非常に危険です。 モーター軸が回り出し非常に危険です。	禁止
⚠注意	●**ガード締め付けナットとスピンナーは、使用中にゆるまないようにしっかり締め付ける。** 締め付けが不充分ですと、ガードと羽根が接触して羽根割れの原因になります。	指示
お知らせ	●包装箱は、保管するときに必要ですから、捨てないでください。 ●ガードや羽根を取り付けていない状態では、仰俯(上向き下向き)角度の調節はできません。モーターカバーが上または下を向いてしまうことがあります。	

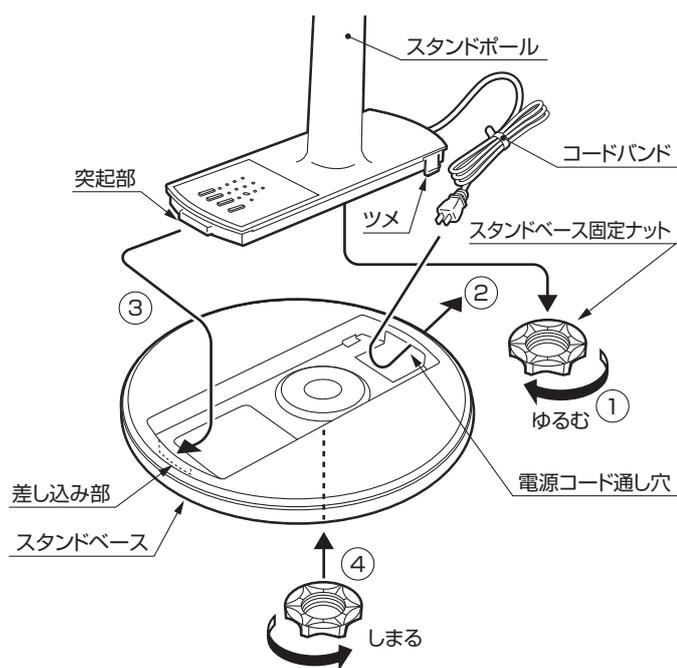
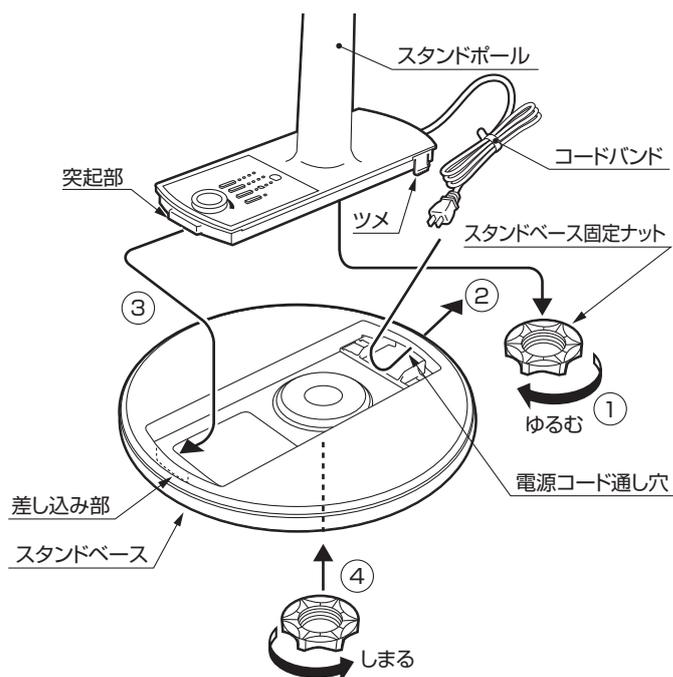
スタンドベースの組み立てかた

① スタンドポールの底に取り付けてあるスタンド固定ナットをはずします。

② 電源コードを、スタンドベースの電源コード通し穴に通します。

③ スタンドベースを平らな安定した場所に置きます。スタンドポール前側の「突起部」をスタンドベースの「差し込み部」に差し込み、スタンドポールのツメ(左右2か所)を「カチッ」と音がするまではめ込みます。

④ スタンドベース固定ナットでスタンドベースとスタンドポールのねじ込み部分をしっかり締め付けてください。

〈FS-300DM・FS-300DRの場合〉

〈FS-300DHRの場合〉

羽根・ガードの組み立てかた
〈全型式共通〉

① モーターカバーから、スピンナー、保護チューブ、ガード締め付けナットをはずします。
（スピンナーは時計回りに回すとモーターシャフトからはずすことができます。）
（保護チューブは保管する時のモーターシャフトの錆防止になりますので、捨てないでください。）

② 後ガードの「UP」を上にして、後ガードの「ガイド穴」とモーターカバーの「突起部」を合わせます。

③ 後ガードをしっかりおさえながら、ガード締め付けナットを時計回りに回して締め付けます。

④ 羽根の裏側の「凹部」とモーターシャフトに組み付いている「回り止めピン」を合せて羽根を差し込みます。

⑤ 羽根の裏側の「凹部」が確実に「回り止めピン」にささっているのを確認してから、スピンナーを反時計回りに回して、ゆるみが無いように締め付けてください。

⑥ 後ガードの「合わせマーク」に前ガードの「フック」を合わせます。

⑦ 前ガードの全周を押えながら、上から下へ順番に後ガードにはめ込みます。

⑧ 前ガードに付いている「クリップ」を後ガードに確実に差し込んでください。

ご使用方法

⚠警告

●**羽根、ガード、スタンドベースをつけずに、高さ調節ボタンを押したり、運転しない。**
けがの原因になります。
パイプが飛び出し非常に危険です。
モーター軸が回り出し非常に危険です。

禁止

●**モーターカバーのすき間や、可動部のすき間に、ピンや針など金属物等、または指を入れない。**
内部にふれたり、異常過熱して火災や感電・けがの原因になります。

禁止

●**電源プラグを抜いて本機の運転を停止しない。**
感電や火災の原因になります。

禁止

⚠注意

●**電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは、使用しない。**
電源コードや電源プラグが異常に発熱し、溶けたり変形して、感電・ショート・発火の原因になります。また、コンセントの差し込みがゆるいと感じた時は工事業者に依頼してコンセントを取り替えてください。コンセントを交換しても異常に発熱している場合は販売店に修理依頼してください。

確認

●**障害物(カーテン等)の周囲や不安定な場所では使用しない。**
転倒し、羽根の破損や故障、けがの原因になります。

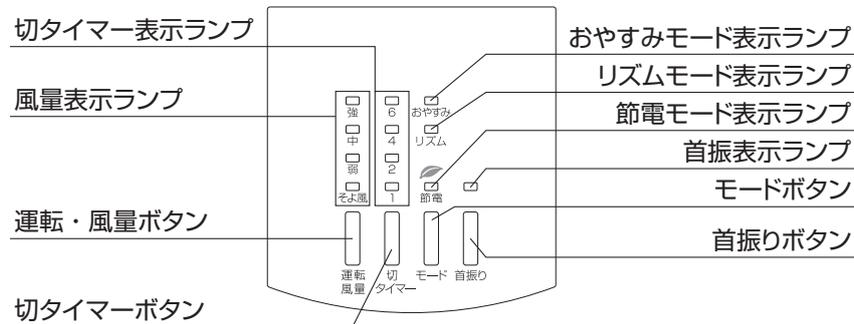
禁止

お知らせ
(FS-300DR
FS-300DHR)

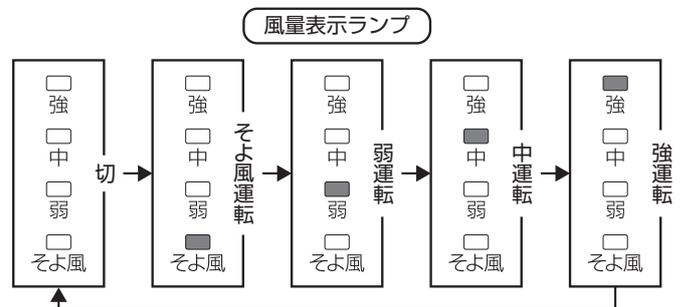
●リモコンはていねいに扱ってください。落としたり水がかかったりすると、送信できなくなることがあります。
●リモコンの受信距離は正面で3m以下です。室内に電子点灯形(インバータ形)の照明器具がある場合は、受信距離が短くなることがあります。
●リモコンの送信部を操作部の受信部に向けて操作してください。操作部の受信部以外へ向けると動作しないことがあります。
●リモコンの送信部と操作部の受信部との間に障害物があると作動しないことがあります。
●リモコン操作をしても作動しない場合、新しいリチウム電池と交換してください。
●リチウム電池の寿命は通常の使い方で約1年です。ただし、電池の「使用推奨期限」に近いものは、電池の交換時期が早くなります。同梱されている電池はおためし用ですので早く消耗することがあります。
●電池を誤って使うと、液漏れや破裂の危険があります。電池の注意文をよく読み、次の点に注意してご使用ください。
- 万が一液漏れしたときは、よくふき取ってから、新しい電池を入れてください。
- 長期間(1箇月以上)使用しないときは、電池を取り出しておいてください。

●電源プラグをコンセントに差し込むと、ブザー音が鳴ります。
●初めてご使用になるときは、扇風機内部などから、塗料などのにおいが発生することがありますが、ご使用にともない、においが出なくなります。
●電源プラグをコンセントに差し込んだ状態で運転を「切」にしても、マイコンなどの消費電力が約1Wあるために操作部が少し暖かくなりますが異常ではありません。

〈FS-300DM(マイコン式)タイプ〉

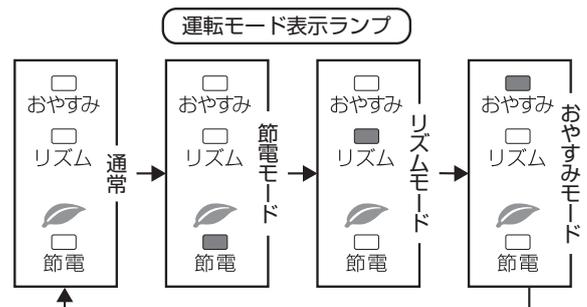
お知らせ	●運転を開始した時には「そよ風」運転で開始します。 ●本体操作部の「運転・風量ボタン」を押して運転を停止した場合には、「切タイマー」の設定を消去します。 ●電源プラグをコンセントから抜いた時には、記憶されていた動作を消去します。

〔本体操作部〕

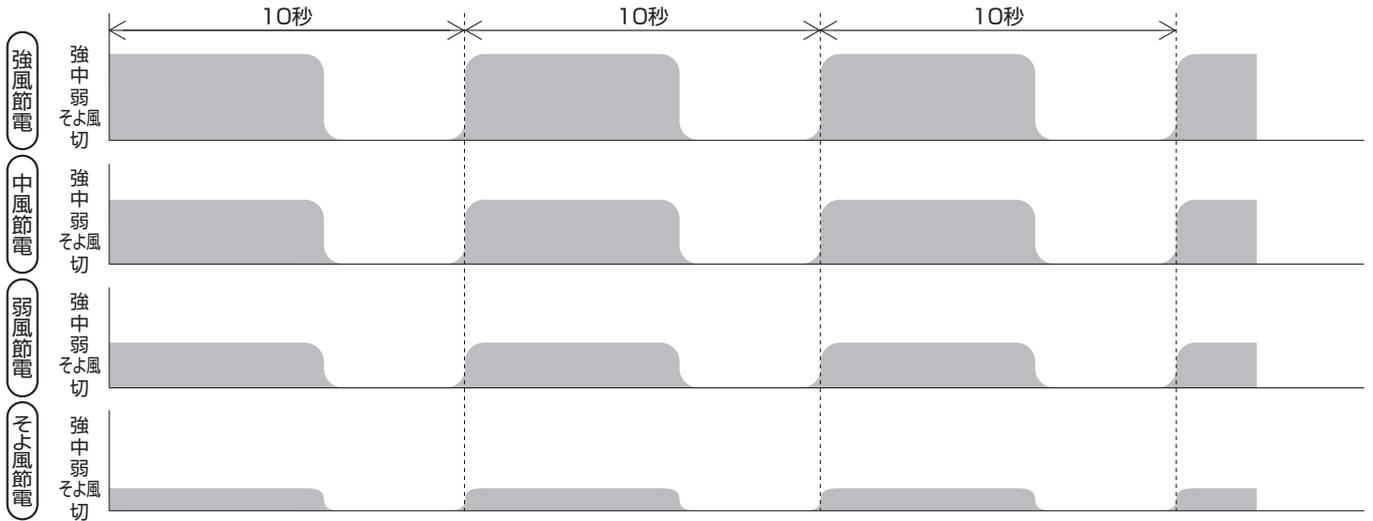
運転・風量ボタン

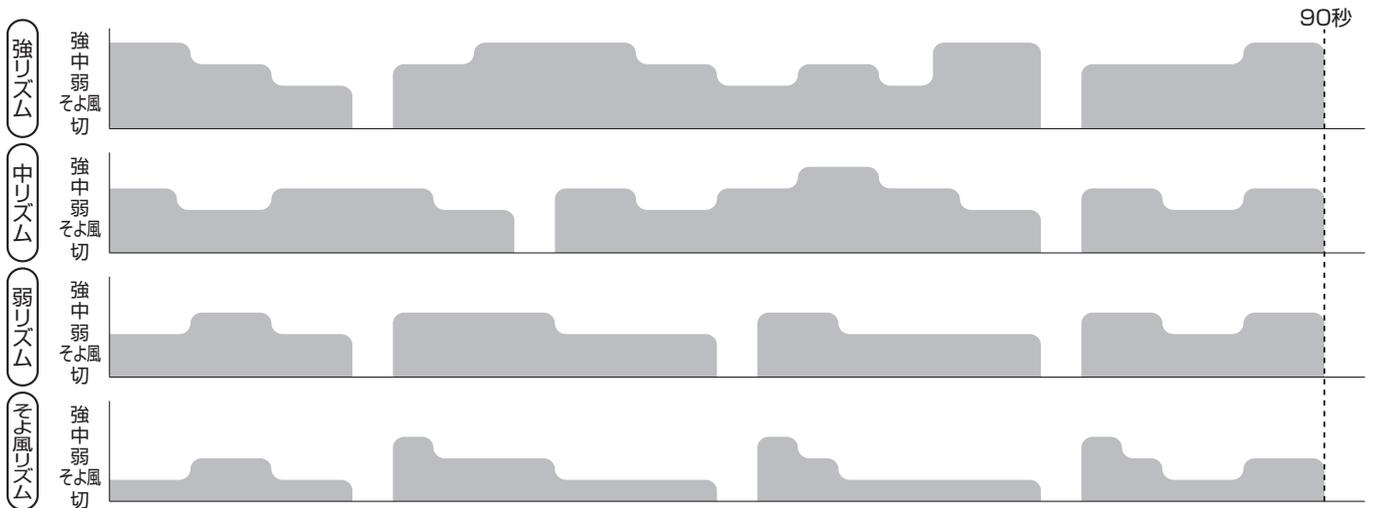
●「運転・風量ボタン」を押すと、電源が入り運転状態になります。押すごとに右図のように風量が切り替わります。
●「風量表示ランプ」がすべて消灯しているときが「切」状態です。

モードボタン

お知らせ	●おやすみ運転中に風量を切り替えても、おやすみモードに設定した時から8時間で、自動的に運転を停止します。

●運転中に「モードボタン」を押すたびに右図のように運転モードが切り替わります。
(「節電モード」や「リズムモード」や「おやすみモード」にしていないと「節電／リズム／おやすみ表示ランプ」は点灯しません。)
●運転モードを切り替えて「節電モード」や「リズムモード」や「おやすみモード」にした場合は、「節電モード」や「リズムモード」や「おやすみモード」に切り換えた時の風量で「節電運転」や「リズム運転」や「おやすみ運転」を開始します。

●「節電モード」や「リズムモード」や「おやすみモード」でも、風量調節が可能です。
●「節電モード」運転中に、「モードボタン」を押した時には、「リズムモード」や「おやすみモード」に切り替えることができます。
●「おやすみモード」のときに、「モードボタン」を押してモードを解除した場合には、「おやすみモード表示ランプ」が消灯し、運転モードが解除されます。

節電運転

●「節電モード表示ランプ」を点灯させると「節電運転」になります。
●風量の設定をすると、下図のように風量が変化します。（網掛け部は動作する風量を表します。）

リズム運転

●「リズムモード表示ランプ」を点灯させると、風量が下図のようにリズミカルに変化する「リズム運転」になります。
●風量の設定をすると、下図のように90秒の間で風量が変化します。(網掛け部は動作する風量を表します。）

おやすみ運転

●「おやすみモード表示ランプ」を点灯させると、下図のように運転が変化する「おやすみ運転」になります。
●下図の「強リズム運転」「中リズム運転」「弱リズム運転」「そよ風リズム運転」は、リズム運転のように風量が、変化します。

首振りボタン

●運転中に「首振りボタン」を押すと、「首振り表示ランプ」が点灯して左右に首振りします。
●再度「首振りボタン」を押すと、「首振り表示ランプ」が消えて首振りを停止します。

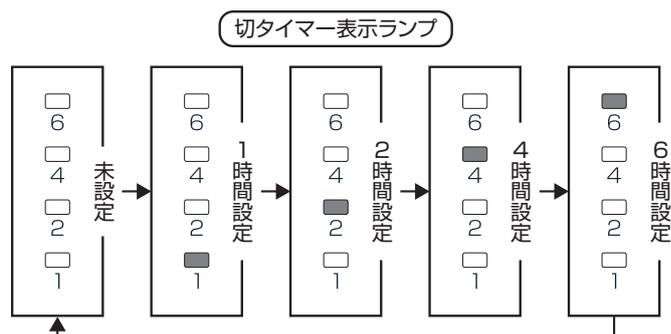
タイマーボタン

お知らせ	●「切タイマー」は、運転停止中では設定できませんので、運転中に「切タイマー」予約をしてください。 ●タイマー設定中に電源プラグを抜いた場合や停電した場合は、設定が解除されますので、初めから操作をやり直してください。

切タイマー

切タイマーを設定する場合

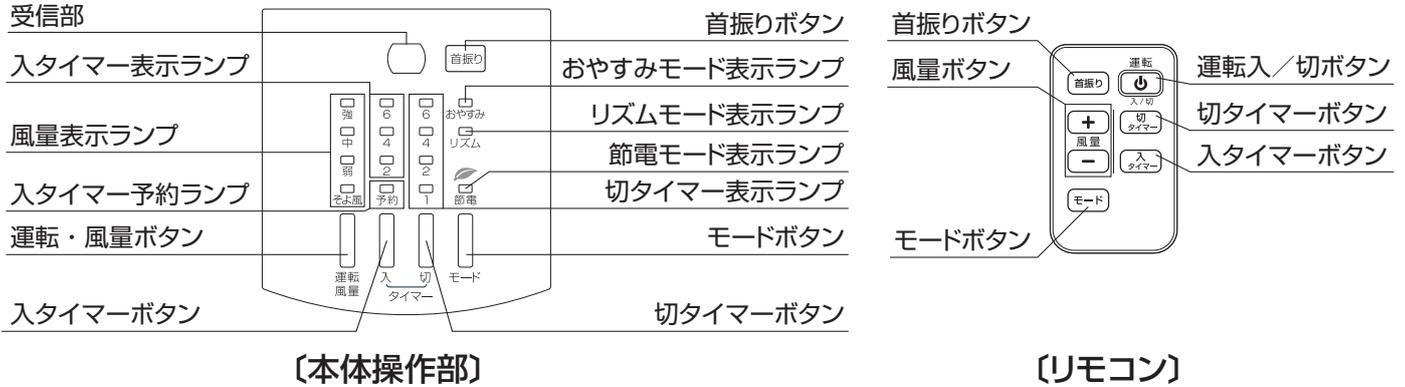
●設定した時間が経過すると自動的に運転を停止します。

1. 「運転・風量ボタン」を押して運転を開始します。
2. 「切タイマーボタン」を押してお好みの時間を設定してください。
   - ボタンを押すたびに切タイマー設定時間が切り替わり、「切タイマー表示ランプ」が点灯します。
   「運転・風量ボタン」「モードボタン」「首振りボタン」をお好みの設定にすることができます。
   - 残り時間により「切タイマー表示ランプ」が切り替わり、残りの時間の目安を表示します。
   - 設定時間が終わると、「切タイマー表示ランプ」が消灯し、自動的に運転を停止します。

切タイマーを取り消す場合

●「切タイマー表示ランプ」が消灯するまで「切タイマーボタン」を押して、切タイマーを取り消してください。

〈FS-300DR(リモコン式)タイプ〉

お知らせ

- 電源プラグやコンセントに差し込んで運転開始した時には「そよ風」運転で開始します。
- 本体操作部の「運転・風量ボタン」を押して運転を停止した場合には、「入タイマー」「切タイマー」の設定を消去します。
- リモコンの「運転入／切ボタン」を押して運転を停止させた場合には、「入タイマー」「切タイマー」の設定を消去して、その他の動作は記憶されます。
- 電源プラグをコンセントから抜いた時には、記憶されていた動作を消去します。

〔本体操作部〕

〔リモコン〕

運転・風量ボタン（本体操作部）

- 「運転・風量ボタン」を押すと、電源が入り運転状態になります。押すごとに右図のように風量が切り替わります。
- 「風量表示ランプ」がすべて消灯しているときが「切」状態です。

風量表示ランプ

切 → そよ風運転 → 弱運転 → 中運転 → 強運転

（強／中／弱／そよ風）

運転入／切ボタン（リモコン）

- 「運転入／切ボタン」を押すと、電源が入り運転状態になります。
- 運転中に「運転入／切ボタン」を押すと表示ランプが消灯し、すべての運転が停止します。

風量ボタン（リモコン）

- 「風量ボタン」の「＋」を押すと風量が強くなり、「－」を押すと風量が弱くなります。
  「＋」「－」ボタンを押すたびに「風量表示ランプ」が切り替わります。

風量表示ランプ

そよ風運転 ↔ 弱運転 ↔ 中運転 ↔ 強運転

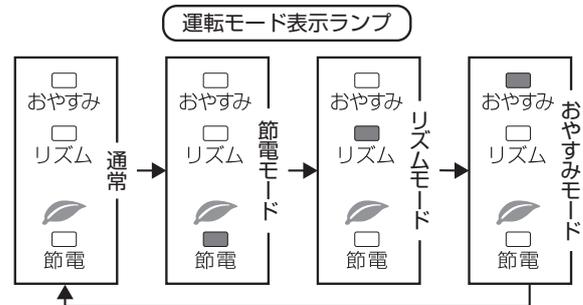
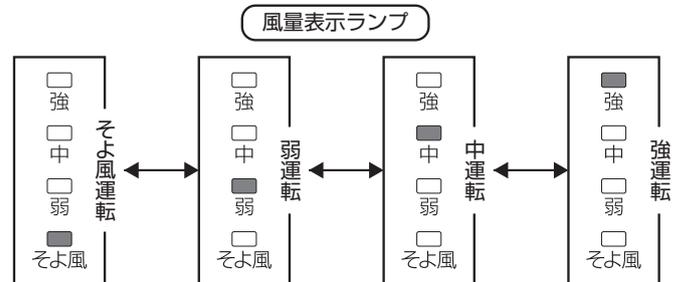
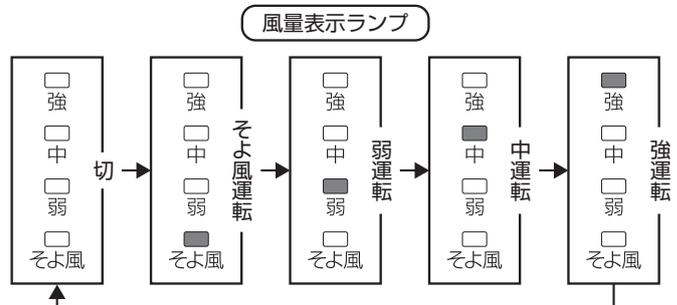
（強／中／弱／そよ風）

モードボタン

お知らせ

- おやすみ運転中に風量を切り替えても、おやすみモードに設定した時から8時間で、自動的に運転を停止します。

- 運転中に「モードボタン」を押すたびに右図のように運転モードが切り替わります。
  (「節電モード」や「リズムモード」や「おやすみモード」にしていないと「節電／リズム／おやすみ表示ランプ」は点灯しません。)
- 運転モードを切り替えて「節電モード」や「リズムモード」や「おやすみモード」にした場合は、「節電モード」や「リズムモード」や「おやすみモード」に切り換えた時の風量で「節電運転」や「リズム運転」や「おやすみ運転」を開始します。

- 「節電モード」や「リズムモード」や「おやすみモード」でも、風量調節が可能です。
- 「節電モード」運転中に、「モードボタン」を押した時には、「リズムモード」や「おやすみモード」に切り替えることができます。
- 「おやすみモード」のときに、「モードボタン」を押してモードを解除した場合には、「おやすみモード表示ランプ」が消灯し、運転モードが解除されます。
- 各モードの動作は、11ページのFS-300DMと同じように風量が変化します。11ページを参照してください。

首振りボタン

●運転中に「首振りボタン」を押すと、左右に首振りします。
●再度「首振りボタン」を押すと、首振りを停止します。

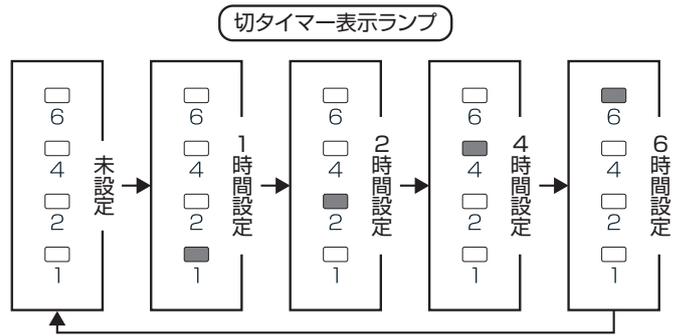
タイマーボタン

お知らせ

●「入タイマー」は、運転停止中または「切タイマー」設定後にしか設定できません。
●「切タイマー」は、運転停止中では設定できませんので、運転中に「切タイマー」を設定してください。
●タイマー設定中に電源プラグを抜いた場合や停電した場合は、設定が解除されますので、初めから操作をやり直してください。

切タイマー

切タイマーを設定する場合　●設定した時間が経過すると自動的に運転を停止します。

1. 本体操作部の「運転・風量ボタン」またはリモコンの「運転入／切ボタン」を押して運転を開始します。
2. 「切タイマーボタン」を押してお好みの時間を設定してください。
   - ボタンを押すたびに切タイマー設定時間が切り替わり、「切タイマー表示ランプ」が点灯します。
     「運転・風量ボタン」「モードボタン」「首振りボタン」をお好みの設定にすることができます。
   - 残り時間により「切タイマー表示ランプ」が切り替わり、残りの運転時間の目安を表示します。
   - 設定時間が終わると、「切タイマー表示ランプ」が消灯し、自動的に運転を停止します。

切タイマーを取り消す場合　●「切タイマー表示ランプ」が消灯するまで「切タイマーボタン」を押して、切タイマーを取り消してください。

入タイマー

入タイマーを設定する場合　●設定した時間が経過すると自動的に運転を開始します。

お知らせ

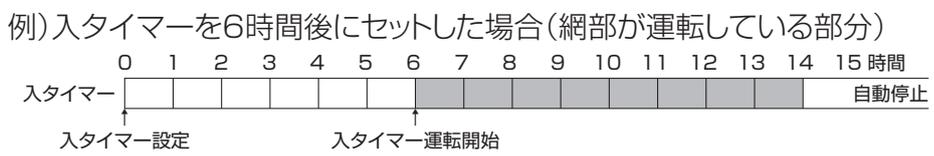
●入タイマーを設定し、設定した時間が経過すると**自動的に「そよ風」「首振り」「節電モード」で運転を開始します。**
●入タイマーで運転を開始してから**8時間で自動停止**します。自動停止を解除する場合は、入タイマーで運転開始後、ボタン操作をおこなってください。
●入タイマー設定したあとに、電源プラグを抜いた場合や停電した場合は、運転しません。

1. 運転を停止させた状態にします。（電源プラグがコンセントに差し込まれているのを確認してください。）
2. 「入タイマーボタン」を押してお好みの時間を設定してください。
   - ボタンを押すたびに入タイマー設定時間が切り替わり、「入タイマー表示ランプ」が点灯します。
   - 残り時間により「入タイマー表示ランプ」が切り替わり、残り時間の目安を表示します。

3. 入タイマー設定操作後、約30秒経過すると「入タイマー予約ランプ」が「点灯」し、入タイマーの設定が完了します。
   - 設定した時間が経過すると、**自動的に「そよ風」「首振り」「節電モード」で運転を開始します。**
   - 設定した時間が経過すると、「入タイマー予約ランプ」と「入タイマー表示ランプ」が消灯し、自動的に運転を開始します。

例）入タイマーを6時間後にセットした場合（網部が運転している部分）

入タイマー表示ランプ

6
4
2
予約
6時間設定

※イラストは6時間のタイマーの設定が完了したときのものです。

入タイマーを取り消す場合

●「入タイマー表示ランプ」が消灯するまで「入タイマーボタン」を押して、入タイマーを取り消してください。

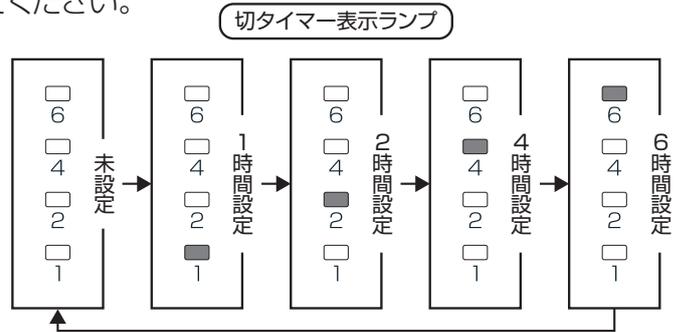
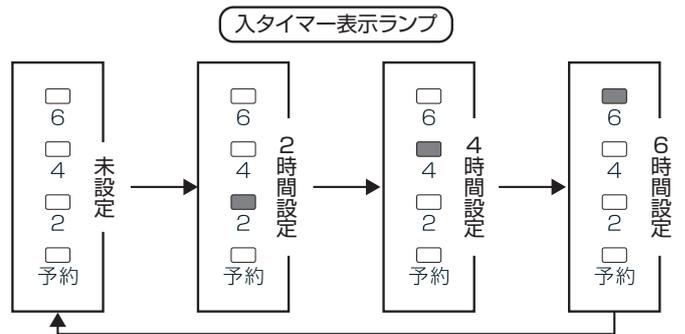
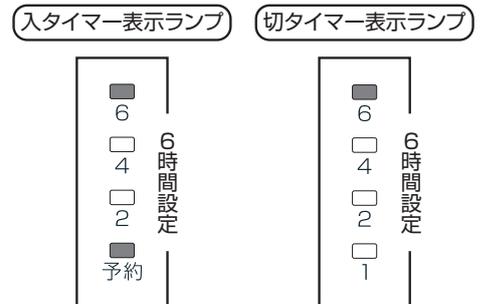
〈切／入ツインタイマー〉

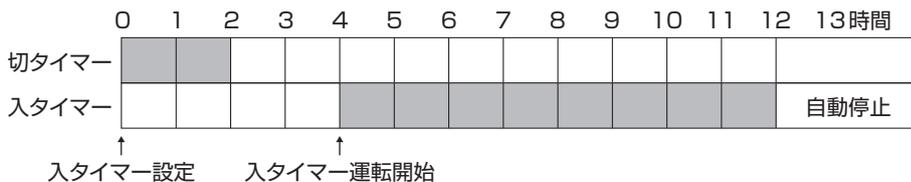
切／入ツインタイマーを設定する場合

お知らせ	●切／入ツインタイマー設定した時は、切タイマー運転で停止した時間から入タイマーのタイマー動作を開始します。 入タイマーによって運転するのは切タイマー運転で停止した後、入タイマー設定した時間後です。 ●入タイマーで運転を開始してから**8時間で自動停止**します。自動停止を解除する場合は、入タイマーで運転開始後、ボタン操作をおこなってください。

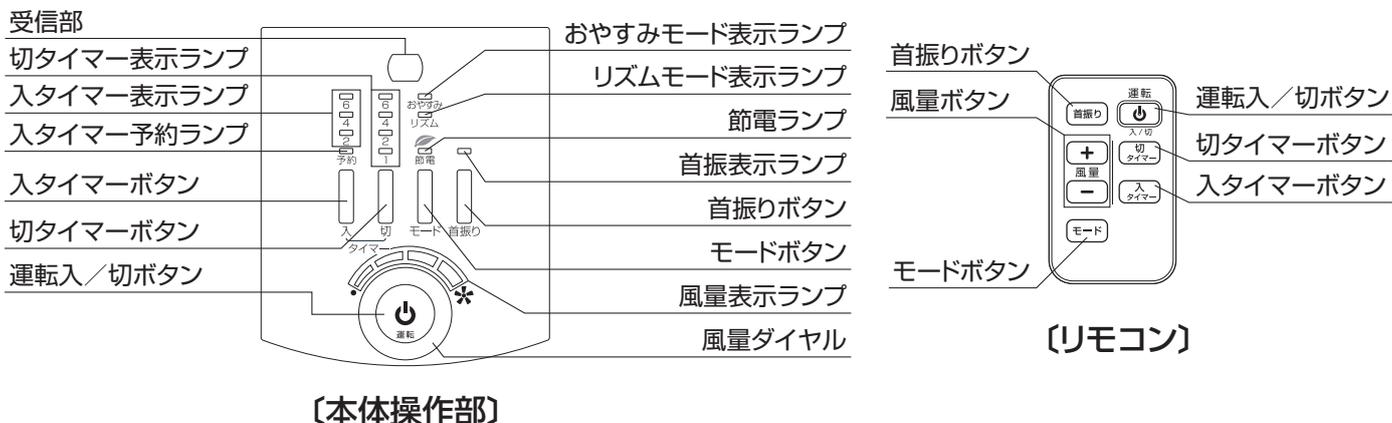
1. 本体操作部の「運転・風量ボタン」またはリモコンの「運転入／切ボタン」を押して運転を開始します。

2. 「切タイマーボタン」を押してお好みの時間を設定してください。

3. ボタンを押すたびに切タイマー設定時間が切り替わり、「切タイマー表示ランプ」が点灯します。
- 「運転·風量ボタン」「モードボタン」「首振りボタン」をお好みの設定にすることができます。
- 時間がたつと「切タイマー表示ランプ」が切り替わり、残り時間の目安を表示します。

4. 「入タイマーボタン」を押してお好みの時間を設定してください。
- ボタンを押すたびに入タイマー設定時間が切り替わり「入タイマー表示ランプ」が点灯します。
- 残り時間により、「入タイマー表示ランプ」が切り替わり、残り時間の目安を表示します。

5. 入タイマー設定操作後、約30秒経過すると「入タイマー予約ランプ」が「点灯」し、入タイマーの設定が完了します。
- 設定した時間が経過すると、**自動的に「そよ風」「首振り」「節電モード」で運転を開始します。**
- 設定した時間が経過すると、「入タイマー予約ランプ」と「入タイマー表示ランプ」が消灯し、自動的に運転を開始します。

※イラストは6時間の切タイマーと、6時間の入タイマーの設定が完了したときのものです。

例）切タイマーを2時間設定、入タイマーを2時間設定した場合（網部が運転している部分）

例）切タイマーを6時間設定後1時間運転したところで、入タイマーを6時間設定した場合
（網部が運転している部分）

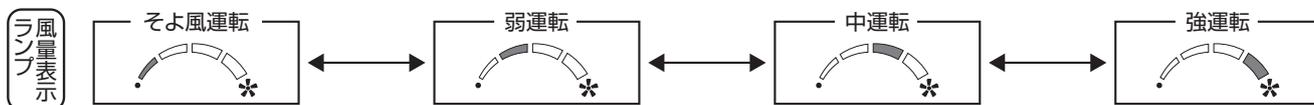
〈FS-300DHR(ハイポジションリモコン式)タイプ〉

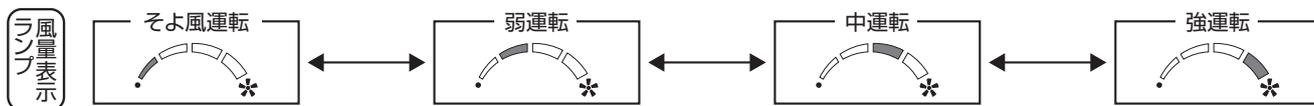
お知らせ	●電源プラグやコンセントに差し込んで運転開始した時には「そよ風」運転で開始します。 ●「運転入／切ボタン」を押して運転を停止した場合には、「入タイマー」「切タイマー」の設定を消去します。 ●電源プラグをコンセントから抜いた時には、記憶されていた動作を消去します。

〔本体操作部〕　〔リモコン〕

運転入／切ボタン

●「運転入／切ボタン」を押すと、電源が入り運転します。再度「運転入／切ボタン」を押すと運転が停止します。
●「風量表示ランプ」がすべて消灯しているときが「切」状態です。

風量ダイヤル（本体操作部）

●「風量ダイヤル」を回すたびに風量が切り替わり、「風量表示ランプ」が点灯します。ダイヤルを時計回りに回すと風量が強くなり、反時計回りに回すと風量が弱くなります。

風量ボタン（リモコン）

●「風量ボタン」の「＋」を押すと風量が強くなり、「－」を押すと風量が弱くなります。
「＋」「－」ボタンを押すたびに「風量表示ランプ」が切り替わります。

モードボタン

●使用方法は、13ページの モードボタン を参照してください。

首振りボタン

●運転中に「首振りボタン」を押すと、「首振り表示ランプ」が点灯して左右に首振りします。
●再度「首振りボタン」を押すと、「首振り表示ランプ」が消えて首振りを停止します。

タイマーボタン

〈切タイマー〉〈入タイマー〉〈切／入ツインタイマー〉の設定ができます。
●使用方法は、14ページ、15ページの タイマーボタン を参照してください。
●説明文中の「運転・風量ボタン」は「運転入／切ボタン」と「風量ダイヤル・ボタン」となります。

風向きの変えかた

●モーターカバーや可動部のすき間に、ピンや針などの金属類、または指を入れない。
内部にふれたり、異常過熱して火災や感電、けがの原因になります。

⚠注意

●障害物（カーテン等）の周囲や不安定な場所では使用しない。
転倒し、羽根の破損や故障、けがの原因になります。

●無理やり首を上下させない。無理やり首を回さない。
動かなくなったらそれ以上は回したり、上下させないでください。
無理に動かすと、故障や破損のおそれがあります。

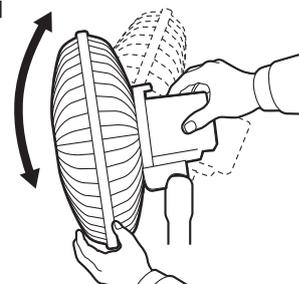
お知らせ

●風向きを上下に変えるとき、もしくは、左右に変えるときに「カチッ」と音がします。
これは角度調節した状態を確実に保持する為の動作音であり異常ではありません。

■風向きを左右に変える場合

●運転を停止し、モーターカバーを持って左・右に変えます。

■風向きを上下に変える場合

●運転を停止し、モーターカバーとガード部を持って上・下に変えます。

高さ調節のしかた

●羽根、ガード、スタンドベースをつけずに高さ調節ボタンを押したり、運転しない。
けがの原因になります。
パイプが飛び出し非常に危険です。
モーター軸が回り出し、非常に危険です。

お知らせ

●下方向に高さを調整したときに「カチッ」と音がします。
これは調整した高さを確実に保持する為の音であり異常ではありません。

●高さ調節をする場合は、高さ調節ボタンを押しながらおこなってください。

〈FS-300DM・FS-300DRの場合〉
●高さ調節は11段階です。

〈FS-300DHRの場合〉
●高さ調節は10段階です。

お手入れのしかた

⚠警告

- **●改造はしない。また修理技術者以外の人は、絶対に分解したり、修理・改造をおこなわない。**
  火災・感電・けがの原因になります。

- **●修理は、お買い求めの販売店にご相談ください。**
  ご自分で修理をされ、修理に不備があると、感電・火災等の原因になります。

お願い	お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜き、けがをしないように手袋をはめておこなってください。また、扇風機は、水あらいやシンナー、ベンジンなどで掃除しないでください。

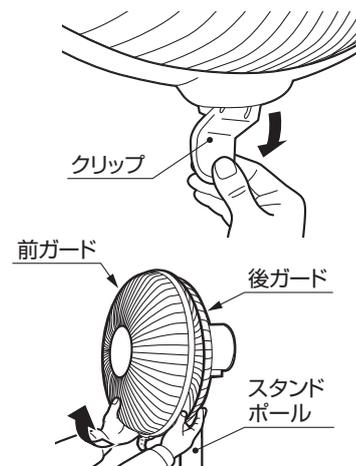
本体の掃除

本体の汚れをぬるま湯か中性洗剤を浸した柔らかい布をかたくしぼってふき取り、その後、乾いた柔らかい布でからぶきします。（乾いた布で強くこすると傷がつきます。）

ガード・羽根の掃除

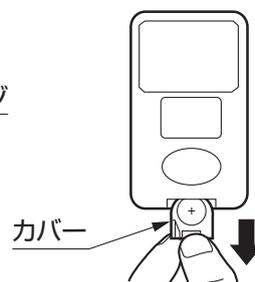
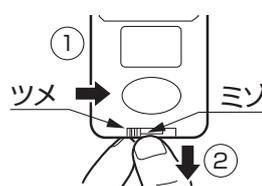
1. 前ガードのクリップをはずします。
2. 後ガードをしっかりと持ち、前ガードを手前に引っ張り上げるようにして、前ガードをはずします。
3. 時計回りにスピンナーを回してはずします。
4. 羽根を取りはずし、ガード締め付けナットを反時計回りに回すと、後ガードがはずれます。
5. ぬるま湯か中性洗剤を浸した柔らかい布をかたくしぼってふき取り、その後、乾いた柔らかい布でからぶきします。（特に羽根は傷がつきやすいので、乾いた布で強くこすらないでください。）
6. 掃除が終わったら 組み立てかた の 羽根・ガードの組み立てかた の手順に従ってガードと羽根を組み立てます。

クリップ

前ガード　後ガード　スタンドポール

電源プラグ、コンセントの掃除

1箇月に1～2回、電源プラグをコンセントから抜いて、付着したほこりや汚れを取り除いてください。

リモコンの電池交換のしかた （FS-300DR, FS-300DHR）

1. リモコン裏面ツメの部分を軽く押しながら、ミゾに指をかけて引き出します。
2. 古い電池を取り出して、新しい電池（CR2032 3V）を「＋」面を上にして本体にはめ込みます。
3. カバーを本体に納めます。

簡単な故障・異常の見分けかた

症　状	原　因	処　置
運転操作をしても羽根が回らない	●停電していませんか?	●停電復帰後に電源プラグをコンセントに差し込む。
	●電源プラグがコンセントから抜けていませんか?	●電源プラグをコンセントに差し込む。
	●羽根とガードが当たっていませんか?	●正しく組み付ける。
	●リモコンの電池が古くなっていませんか? （FS-300DR,FS-300DHRのみ）	●新しい電池と入れ替える。
	●リモコンで操作できませんか? （FS-300DR,FS-300DHRのみ）	●リモコン送信部を本体受信部に向ける。
においがする	●初めてご使用になるときは、扇風機内部などから、塗料などのにおいが発生する事がありますが、ご使用にともないにおいが出なくなります。	――――――
羽根がときどき止まりそうになる	●「弱リズム運転」または「そよ風リズム運転」または「節電運転」ではありませんか?	●「弱リズム運転」または「そよ風リズム運転」または「節電運転」は羽根を止める制御をしていますので、異常ではありません。
操作部やモーターカバーが暖かい	●運転中は、少し熱を帯びますが異常ではありません。 ●待機中でもマイコンの消費電力で少し熱を帯びますので、異常ではありません。	――――――
異音がする	●羽根はしっかりと固定されていますか?	●正しく組み付ける。
	●ガードはしっかりと固定されていますか?	●正しく組み付ける。
	●羽根とガードが当たっていませんか?	●正しく組み付ける。
本体がぐらつく	●傾いた場所に置いて運転していませんか?	●安定した水平な場所で使用する。
	●スタンドベース固定ナットはしっかりと固定されていますか?	●正しく組み付ける。

上記処置をおこなっても直らないときは、お買い求めの販売店にご相談ください。

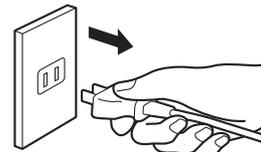
長年ご使用の扇風機の点検

- ●モーターがうなるような異常な音はしていませんか?
- ●焦げ臭いにおいはしていませんか?
- ●モーターが異常に熱くなったりしていませんか?
- ●スイッチを入れたら、ちゃんと羽根は回りますか?
- ●羽根の回転が遅くなったりしていませんか?
- ●羽根はちゃんと回ってますか?異常な振動音を出しながら回ってませんか?
- ●電源コードをふれたり折り曲げたりしたら、動いたり動かなかったりすることはありませんか?
- ●スイッチを入れても、動かない時はありませんか?

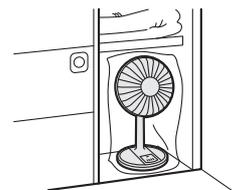
愛情点検

以上のような症状の時は、使用を中止し、故障や事故の防止のため必ずお買い求めの販売店に点検をご相談ください。

保管のしかた

●使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜く。
絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。

●保管するときは、お子様や器具の操作方法を知らない人などがふれない所に保管する。
けがや事故の原因となることがあります。

① **お手入れのしかた にしたがって、手入れをしてください。**
② **お買い求めのときの包装箱に入れるか、ポリ袋をかぶせて、湿気の少ない所に保管してください。**
●包装箱に保管するときは、**組み立てかた** との逆の順序でガード、羽根、スタンドベースを本体からはずしてください。
③ **取扱説明書は大切に保管してください。**

仕様

項目		
電　　圧(V)	100	
周　波　数(Hz)	50	60
消費電力(W)	37	41
回　転　数(rpm)	950	1000
風　　速(m/min)	185	190
風　　量(m^3/min)	39	41
首振り角度(度)	70	
コ　ー　ド(m)	1.6	
寸　　法(mm)	FS-300DM, FS-300DR	幅360 x 奥行360 x 高さ800～990
	FS-300DHR	幅360 x 奥行360 x 高さ900～1110
質　　量(kg)	FS-300DM, FS-300DR	4.0
	FS-300DHR	4.2
安全装置	モーター部温度ヒューズ、電流ヒューズ	

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

【本体への表示内容】
経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために、電気用品安全法で義務付けられた以下の内容の表示を本体におこなっています。

【製造年】本体に西暦の下2桁で表示してあります。
【設計上の標準使用期間】6年
設計上の標準使用期間を超えて使用されますと、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

(設計上の標準使用期間とは)
※運転時間や温湿度など、標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。
※設計上の標準使用期間は、保証書に記載の無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を保証するものでもありません。

●標準的な使用条件　JIS C 9921-1 及び(社)日本電機工業会自主基準 HD-116-3 によります。

区分	項目	条件
環境条件	電圧	単相100V
	周波数	50/60Hz
	温度	30℃
	湿度	65%
	設置条件	標準設置(取扱説明書による)
負荷条件		定格負荷(風速)(取扱説明書による)

区分	項目	条件
想定時間等	1日あたりの使用時間	8(h/日)
	1日使用回数	5(回/日)
	1年間の使用日数	110(日/年)
	スイッチ操作回数	550(回/年)
	首振り運転の割合	100(%)

●「経年劣化」とは長期間にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化をいいます。
●温度 30℃、湿度 65%は、JIS Z 8703 の試験状態を参考としています。
●設置状況や環境、使用頻度が上記の条件と異なる場合、または、業務用など本来の使用目的以外でご使用された場合は、6年より短い期間で経年劣化による火災・けが等の事故に至るおそれがあります。

保証とアフターサービス

保証について

●**この製品には保証書がついています。**
保証書は、販売店で所定事項を記入してお渡しいたしますので、所定事項の記入および記載内容をご確認のうえ、大切に保管してください。

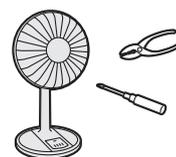
●**保証期間はお買い求めの日から1年間です。**
保証書の記載内容によりお買い求めの販売店が修理いたします。
なお、保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

●**保証期間経過後の修理については、販売店にご相談ください。**
修理によって機能が維持できる場合は、お客様の要望により修理いたします。費用など詳しいことはお買い求めの販売店にご相談ください。
当社は、販売店からの注文により、補修用性能部品を販売店に供給します。

●**扇風機の補修用性能部品の保有期間は、製造打切り後8年です。**
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

アフターサービスについて

警告

●**改造はしない。また修理技術者以外の人は、絶対に分解したり、修理・改造をおこなわない。**
火災・感電・けがの原因になります。

分解禁止

●**修理は、お買い求めの販売店にご相談ください。**
ご自分で修理をされ、修理に不備があると、感電・火災等の原因になります。

実施

使用中に異常が生じたときは、直ちに電源プラグを抜き、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
アフターサービスをお申しつけいただくときは、右のことをお知らせください。

型式…（例）FS-300DM
故障状態…できるだけ詳しく
ご芳名・ご住所・お電話番号

●アフターサービスについてご不明の場合、その他お困りの場合は、お買い求めの販売店または下記の お客様相談窓口 にご相談ください。

●ご贈答、ご転居により、お買い求めの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。ご転居先での当社製品取扱店を紹介させていただきます。

お客様相談窓口

製品についてのお問い合わせ、故障修理のお問い合わせはお買い求めの販売店にご連絡ください。
販売店にお問い合わせできない場合は、下記の お客様相談窓口 までご連絡ください。

株式会社 トヨトミ

フリーコール **0120-104-154**

■受付時間：平日（月曜～金曜）：午前9時～午後5時（土・日・祝日は除く）

トヨトミ リビング扇風機 保証書

本保証書は、本書記載内容により無料修理をおこなうことをお約束するものです。
お買い求めの日から下記期間内に故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、お買い求めの販売店に修理をご依頼ください。

型式 FS-300DM,
FS-300DR,FS-300DHR

保証期間
お買い求め日より1年間

※お買い求め日 年 月 日

※お客様 ご芳名 様

〒 □□□-□□□□

ご住所

〔電 話 ( ) 〕

※販売店名・住所・電話番号

(※印欄に記入がない、あるいは購入・支払いを証明するものがない場合は無効となりますから必ずご確認ください。)

株式会社 トヨトミ 名古屋市瑞穂区桃園町5番17号
〒467-0855 ☎052-822-1144

【 無 料 修 理 規 定 】

1. お買い求めから上記保証期間中に、取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、本書記載内容により、お買い求めの販売店または当社が無料修理致します。
2. 無料修理をお受けになる場合は、本書あるいは購入日・支払いを証明するものをご提示のうえ、お買い求めの販売店または当社にご依頼ください。
3. ご転居やご贈答品等でお買い求めの販売店に修理を依頼できない場合は、当社までお問い合わせください。
4. 保証期間内でも、次の場合は有料になります。

(イ) 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従わない使用上の誤り、及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
(ロ) お買い求め後の本機の転倒、落下、衝撃等による故障及び損傷。
(ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害による故障及び損傷。
(ニ) 一般家庭用以外(例えば、業務用の長時間使用、車両・船舶への搭載など)に使用された場合の故障及び損傷。
(ホ) 本書のご提示がない場合。
(ヘ) 本書にお買い求め年月日・お客様名・販売店名の記入のない場合、または字句を書き替えられた場合。通信販売等で購入され、それを証明する商品の送り状・支払明細書の提示がない場合。ネット販売等を利用した個人売買品や譲渡品、中古品(再生品)の修理。
(ト) 部品の消耗による部品交換及びメンテナンスの費用。

5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
6. 本書は再発行致しませんので、紛失しないように大切に保管してください。

●この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い求めの販売店または、当社の お客様相談窓口 までお問い合わせください。
●保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは、取扱説明書の「保証とアフターサービス」の項をご覧ください。
●お客様の個人情報は、当社規定により、厳格に管理します。保証期間内のサービス活動、及びその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がありますので、ご了承ください。

修理メモ

株式会社 トヨトミ

ホームページ http://www.toyotomi.jp

本 社 〒467-0855
名古屋市瑞穂区桃園町5番17号
フリーコール 0120-104-154
TEL 〈052〉822-1144
FAX 〈052〉822-2742